

## 02.Exhibitions



京都精華大学 国際マンガ 研究センター  
KYOTO SEIKA UNIVERSITY  
INTERNATIONAL MANGA RESEARCH CENTER

2019 年 開催展示

2019.04.27 - 2019.09.08

竹宮恵子 カレイドスコープ 50th Anniversary

2018.12.01 - 2019.03.31

2019.05.17 - 2019.08.02

2019.08.03 - 2019.11.21

2019.12.22 - 2020.03.31

「大マンガラクタ館」 シリーズ

2019.12.07 - 2020. 02.25

メキシコの知られざる大衆漫画 「イストリエタ」

### 展覧会

# 竹宮恵子 カレイドスコープ 50th Anniversary



**期間** 2019年4月27日(土)～9月8日(日)

**開催日数** 120日間

**会場** 京都国際マンガミュージアム 2階  
ギャラリー1・2・3・4

**主催** 京都国際マンガミュージアム

**協力** 新潮社、北九州市漫画ミュージアム

**特別協力** トランクライザープロダクト

**担当研究員** 倉持佳代子

### 実施概要

「風と木の詩」「地球へ…」などで知られ、京都精華大学国際マンガ研究センターのセンター長もつとめるマンガ家・竹宮恵子の画業50周年を振り返る展覧会。マンガ界を革新・リードしてきた竹宮恵子の足跡を追う本展は、北九州市漫画ミュージアムを皮切りに、川崎市市民ミュージアムなど、各地を巡回し好評を博したが、当館はそのラストを飾った。

他館では出展されていない新規出展物に加え、コーナーごとのテキストを新たに書きおろした解説も。館の特性上、ファンだけでなく来館者も多く訪れるため、通りすがりに入った人にも分かりやすい導入を作るためである。また、連載時の雑誌資料など館藏品も多数活用することで、その時代の雰囲気や作者の膨大な仕事の軌跡を追えるよう工夫した。期間中には複数のイベントも開催し、華やかなフィナーレとなった。

(文責：倉持佳代子)

### 展示内容

- ・肉筆原稿 約 120 点  
 ※うち当館での新規出展 30 点以上（「イズアローン伝説」「天馬の血族」の名場面の原画など）
- ・精巧な複製原画「原画」（ダッシュ）（カラーイラスト）約 150 点
- ・「風と木の詩」の構想スケッチが描かれたクロッキーノート
- ・連載当時に発売された LP、竹宮恵子愛用品、フィギュアなど資料約 50 点

### 展示構成

- 第一章「風と木の詩」
- 第二章 デビューから「イズアローン伝説」まで
- 第三章「地球へ・・・」&SF作品
- 第四章「天馬の血族」ほか個展描き下ろしまで

### 関連イベント

- (1) 竹宮恵子新刊先行発売記念サイン会  
 新刊『プロのマンガテクニック竹宮恵子 スタイル破りのマンガ術』（玄光社）を当館ショップにて先行販売、購入者を対象にしたサイン会。  
 日時：2019年4月27日（土）15:00～17:30

会場：京都国際マンガミュージアム 1階  
 多目的映像ホール

人数：100名

### (2) プレミアムギャラリートーク

竹宮恵子による少人数制のギャラリートークを閉館後に開催。

日時：2019年4月27日（土）16:00～19:00

会場：京都国際マンガミュージアム 2階  
 ギャラリー1・2・3・4

人数：20名

### (3) スペシャル対談 西炯子×竹宮恵子

「甥の一生」「初恋の世界」などで知られるマンガ家・西炯子と竹宮恵子による対談。

※対談内容については本報告書で再録・公開。

日時：2019年7月20日（土）14:00～16:00

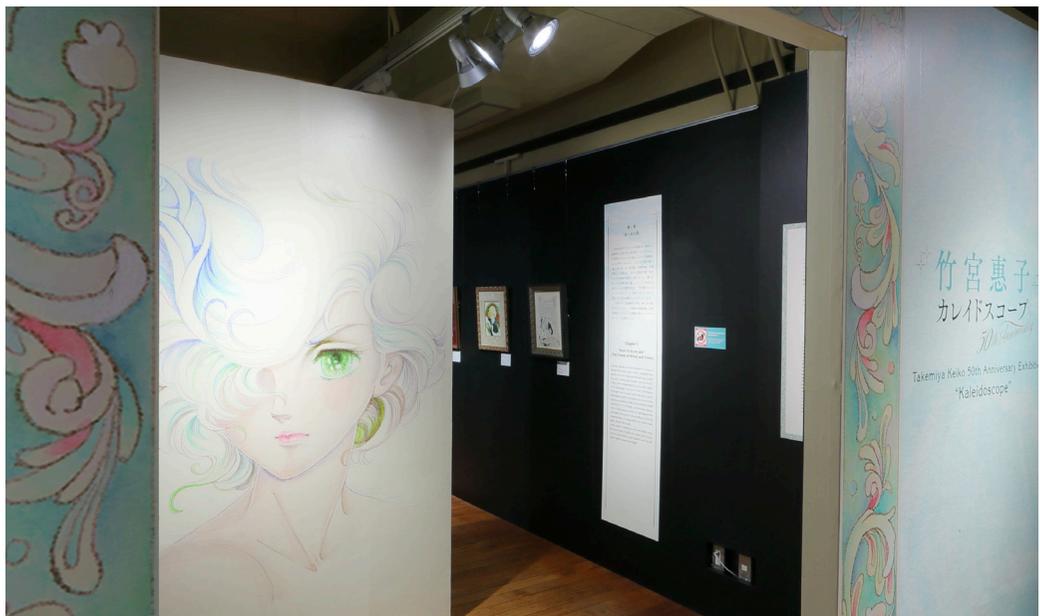
会場：京都国際マンガミュージアム 1階  
 多目的映像ホール

人数：230名

### (4) 竹宮恵子の描けない人のためのマンガ教室

竹宮恵子が講師となり描きたいけれど（人、パランスが）どうしても上手く描けない人のためのマンガ教室を開催。

日時：2019年8月12日（月・祝）  
 14:00～16:00



## Exhibitions 2019

会場：京都国際マンガミュージアム 1階

多目的映像ホール

人数：30名

### (5) 竹宮恵子ファン大感謝祭

本展開催に合わせて開催した下記コンテストの受賞者発表も兼ねたファンとの一大交流会。

#### ①「風と木の詩」方言朗読コンテスト

「風と木の詩」の一場面を選び、方言で朗読した動画、あるいは音声データを募集。

#### ②竹宮恵子作品コスプレコンテスト

竹宮恵子作品のコスプレ写真の募集します。キャラクターは竹宮作品であれば何でもOK。

#### ③竹宮恵子展「ジルベールベンチ」・「壁ダン」写真コンテスト

『竹宮恵子 カレイドスコープ』展で撮影した『ジルベールベンチ』、あるいはダンによる壁ドン、『壁ダン』の写真の募集。

日時：2019年9月8日（日）14:00～17:30

会場：京都国際マンガミュージアム 1階

多目的映像ホール

人数：230名

### 関連記事

・朝日新聞（関西版・夕刊）『いまだきマンガ塾』

2019年5月28日（火）掲載

「竹宮恵子、少女マンガに革命 「カレイドスコープ」展、画業50年振り返る」倉持佳代子

上記と同じ記事が「好書好日」にて掲載

<https://book.asahi.com/article/12416790>



## 展覧会 「大マンガラクタ館」シリーズ



会場 京都国際マンガミュージアム 2階  
館長室前

(1) 第3回「戦前の童画雑誌『カシコイ』の世界」

2018年12月1日(土)～2019年3月31日(日)

(2) 第4回「〈大人のマンガ〉は難しくて豪華!?

明治の高級マンガ雑誌」

2019年5月17日(金)～8月2日(金)

(3) 第5回「少女マンガのルーツか?! パリ20

世紀初頭の風俗マンガ雑誌」

2019年8月3日(土)～11月21日(木)

(4) 第6回「『趣味の王さま』三田平凡寺、令和

に復活す!？」

2019年12月22日(日)～2020年3月31日(火)

[予定]

担当研究員 伊藤遊

### 実施概要

「大マンガラクタ館」は、「世の中に忘れられたマンガの先祖たちを掘りおこし、現代マンガのルーツをさぐる」ということを目的に、京都国際マンガミュージアム・荒俣宏館長が企画し、プロデュースする小展示シリーズである。

当初は、同館／IMRC所蔵の閉架資料を紹介していたが（第1回の赤本、第2回の怪奇もの貸本マンガ、第4回の近代諷刺マンガ雑誌）、今年は、「掘りおこ」す場所が広がっていった。第3回では、初山滋（童画家）、新美南吉（児童文学者）ら豪華執筆陣を揃えていたにもかかわらず、忘れられていた戦前の学年誌『カシコイ』を紹介したが、そこで展示された同誌掲載の初山らによる童画の原画群は、『カシコイ』編集人の親族が保管していたものである。それらは、忘れられた歴史の「発見」として、新聞などでも大きく紹介された。

第6回も同様のケース。マンガ研究者の夏目房之介氏らが所蔵する、祖父である三田平凡寺（1876～1960）の創作物や日記、収集した「ガ



## 展覧会

## メキシコの知られざる大衆漫画「イストリエタ」 民俗文化としての漫画表現



**期間** 2019年12月7日(土)

～2020年2月25日(火)

**会場** 京都国際マンガミュージアム 2階  
ギャラリー4

**主催** 京都国際マンガミュージアム  
京都精華大学国際マンガ研究センター  
国際日本文化研究センター・機関拠点型基  
幹研究プロジェクト「大衆文化の通時的・  
国際的研究による新しい日本像の創出」  
※本展は京都精華大学と国際日本文化研究  
センターとの学术交流・協力に関する基本  
協定に基づき開催されました。

**監修** 大塚英志  
(国際日本文化研究センター教授)

**企画** アルバロ・ダビド・エルナンデス・エルナンデス  
(国際日本文化研究センタープロジェクト研究員)

**スペイン語邦訳** ゲン・レオナルド・オタ・オタニ

**英訳** キャシー・セル

**担当研究員** 雑賀忠宏

## 実施概要

メキシコで近代以降に市井の人々の読み物として広がっていった漫画表現である「イストリエタ」。国際日本文化研究センターとの共同主催として企画された本展覧会では、そうした大衆文化、あるいは民衆文化としての「イストリエタ」の歴史と世界とをまとめたかたちで紹介する、おそらく本邦初の展示となった。

本展示では、立派な「歴史(イストリア)」に対して庶民の小さな物語としての意味合いを帯びる「イストリエタ」が織り成した想像力の小宇宙をめぐって、19世紀から20世紀初頭におけるメキシコでの風刺雑誌や新聞上のコミック・ストリップの登場、1930年代～40年代の小さな判型のイストリエタ雑誌群を中心とした大衆文化としての急速な拡大、そしてその後の衰退までの足跡を、メキシコのイストリエタ研究者から提供された原画をはじめ貴重な資料約100点をもとに追った。また、大地を馬で駆ける「チャロ」(メキシコのカウボーイ)たちやヒーローとしての「ルチャ・リブレ」(覆面レスラー)たちなど、イス

## Exhibitions 2019

トリエタ作品の主要なキャラクター類型やテーマに光を当てつつ、「ネオ・モネロス」と呼ばれる、グラフィック・ノベルやオルタナティブ・コミックスなどの影響を受けたこんにちのメキシコのコミックス作家についても紹介した。イストリエタの特徴的な技法である「フォト・モンタヘ」（写真素材のコラージュによる作品制作）や「メディア・トノ」（薄墨を用いた描画技法）などにも焦点を当てた。

なお、国際日本文化研究センターが制作した本展図録を会期中に会場で無償配布した。本図録は今後ウェブでも公開される予定である。

（文責：雑賀忠宏）

### 本展の構成および出展資料（一部抜粋）

#### 1. メキシコの大衆漫画「イストリエタ」

#### 2. メキシコの大衆向けイストリエタの成立と終焉

Jesús Acosta, *Chupamirto*, 1928. (原画) [ヘス・アカスタ「チュパミルト」]

Gabriel Vargas, *Regino Burrón*. 制作年不明 (原画) [ガ

ブリエル・バルガス「レヒノ・ブロン」]

Salvador Pruneda, *Don Catarino*, 1952. (複製原画) [サルバドル・プルネダ「ドン・カタリノ」]

Joaquín Hernández Bassoco, *Wama*, 1940. (原画) [ホアキン・エルナンデス・バスコ「ワマ」]

Ignacio Palencia, *Ingratitud*, 1952. (原画) [イグナシオ・パレンシア「恩知らず」]

#### 3. イストリエタの歩み

*La Patria Ilustrada*, 1889 [新聞『祖国画報』]

Rafael Lillo, 'Las Aventuras de Adonis' in *El Mundo Ilustrado*, 1908. [新聞『世界画報』よりラファエル・リロ「アドニス冒険」]

Adolfo Mariño Ruiz, 'El Charro Negro', in *Paquín Chico*, 1937. [漫画雑誌『パキン・チコ』よりアドルフォ・マリニョ・ルイス「黒いチャロ」]

*Paquín*, no.1000, 1940. [漫画雑誌『パキーン』第1000号] *Muñequita*, 1950. [漫画雑誌『ムニェキータ』]

*Picante*, 1954. [漫画雑誌『ピカンテ』]

Rius, *Los Supermachos*, no.80, 1967. [リウス『スーパーマチョス』第80号]





Fausto B. Vázquez (art) & Guillermo Z. Vigil (story), *El Payo: Un Hombre Contra el Mundo*, no.257, 1971. [ファウスト・B・バスケス作画、ギジェルモ・Z・ビヒル原作、『エル・パヨ 世界と戦う男』第257号]

Rafaél C. Navarro & Modesto Vázquez, *Kalimán*, no.416, 1973. [ラファエル・C・ナバロ&モデスト・バスケス『カリマン』第416号]

Gaby (art) & Arturo Lucero (story), 'Tinieblas en las garras de la muerte', in *Sensacional de luchas*, no.144, 1988. [『素晴らしきルチャ』第144号よりガビ作画、アルトゥロ・ルセロ原作「死の手に陥るティニエブラス」]

#### 4. メキシコ・イストリエタにおける七大テーマ

Joaquín Mejía & Oscar González, *Hermelinda Linda*, no.129, 1968. [ホアキン・メヒア&オスカル・ゴンサレス『美しきエルメリンダ』第129号]

Antonio Gutiérrez (drawing) & Yolanda Vargas Dulché (story), *Clasicos de Lágrimas, risas y amor: María Isabel*, vol.1, 1985. [アントニオ・グティエレス作画、ヨランダ・バルガス・ダルチ原作『涙、笑いと愛の名作 マリア・イサベル』第1巻]

José G. Cruz & Delia Larios, *Adelita y las guerrillas*, no.101, 1954. [ホセ・G・クルス&デリア・ラリオス『アデリタとゲリラ』第101号]

Sixto Valencia (drawing) & Yolanda Vargas Dulché (story), 'Angustias y Felicidad', in *Memín Pinguín*, no.55, 1965. [『いたずらメミン』第55号よりシクスト・バレンシア作画、ヨランダ・バルガス・ダルチ原作「苦悩と幸福」]

José G. Cruz, *Santo, el enmascarado de plata*, no.301, 1954. [ホセ・G・クルス、『サント、白銀のマスクマン』第301号]

Adolfo Mariño Ruiz, *El Charro negro*, no.5, 1952. [アドルフォ・マリニョ・ルイス、『黒いチャロ』第5号]

Rius, 'Aviso: Los Padres de más de cuatro serán castrados', in *Los agachados*, no.179, 1982. [『ロス・アガチャドス』第179号より、リウス「警告 子供4人以上の父親は去勢される」1982年]

#### 5. 「ネオ・モネロス」——更新される現代イストリエタ

José Quintero, *Buba*, 2012. [ホセ・キンテロ『ブバ』]

Luis Fernando Enríquez, *La Blanda Patria y otras historias*, 1988. [ルイス・フェルナンド・エンリーケス『柔らかな祖国 その他の物語』]

*El papá del Ahuizote*, no.9, 1995. [風刺画雑誌『やっかい者の父親』第9号]

Rafael Barajas (aka El Fisgón), *¡Me lleva el TLC!*, 1993. [ラファエル・バラハス、『NAFTAにやられた!』]

#### 関連記事

・朝日新聞（関西版・夕刊）『いまどきマンガ塾』2020年2月25日（火）掲載

雑賀忠宏「メキシコの知られざる大衆漫画「イストリエタ」 ルチャ・リブレのレスラーら庶民の英雄像描く」

上記と同じ記事が「好書好日」にて掲載

<https://book.asahi.com/article/13179930>

